

北海道 Vol 15 No1 2001 公衆衛生学雑誌

ISSN 0914-2630 CODEN HKEZEA

Hokkaido Journal of Public Health

Contents

第53回北海道公衆衛生学会プログラム

学会長 北海道岩見沢保健所長 木村 浩 男

会 期 平成13年11月29日・30日

会 場 岩見沢市文化センター（岩見沢市9条西4丁目）

特別講演

- 1 わが国における食品衛生の現状と課題

麻布大学教授

丸 山 務

- 2 21世紀、北海道農業の展望

拓殖大学北海道短期大学教授

相 馬 暁

- 3 これからの地域精神保健福祉活動

北海道立精神保健福祉センター所長

遠 藤 雅 之

教育講演

- 1 シックハウス症候群と化学物質過敏症

北海道大学教授

岸 玲 子

- 2 児童虐待の発見と予防 ～母子支援と相談活動を通じて～

北星学園大学教授

相 場 幸 子

北公衛誌
Hokkaido JPH

北海道公衆衛生学会 通巻42号

第 5 3 回 北 海 道 公 衆 衛 生 学 会

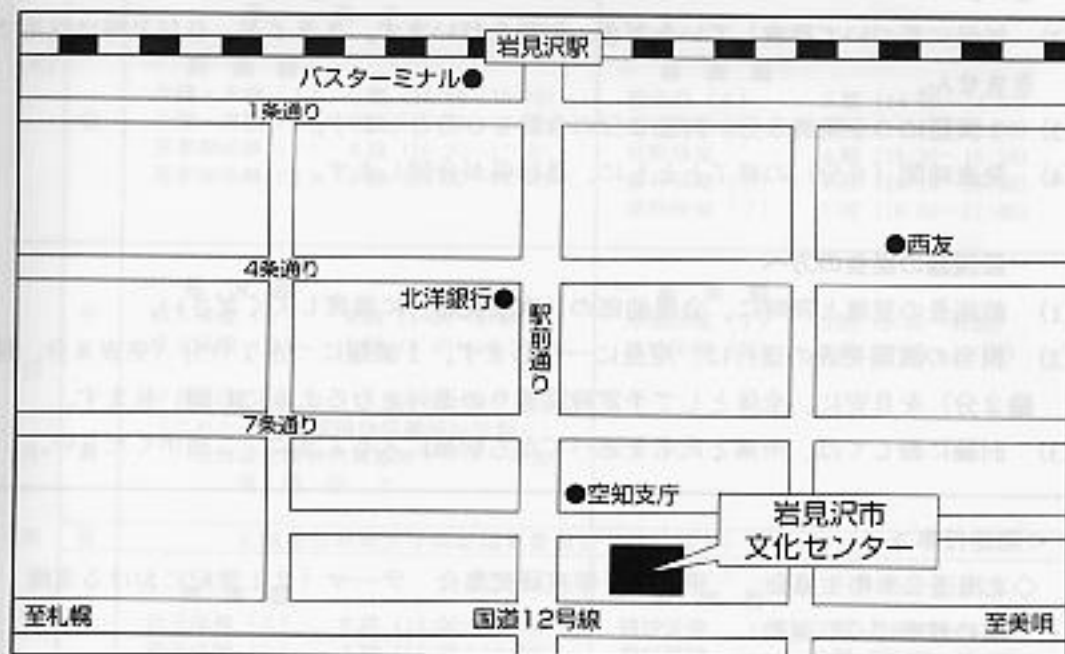
学 会 長 木 村 浩 男 北海道岩見沢保健所長
 副 学 会 長 増 子 一 男 岩見沢市市民福祉部長
 期 間 平成 1 3 年 1 1 月 2 9 日 (木) ・ 3 0 日 (金)
 会 場 岩見沢市文化センター

〒068-8558 岩見沢市 9 条西 4 丁目 TEL 0126(22)4233

第 1 会 場 中ホール

第 2 会 場 2 階音楽室

会 場 案 内 図



- ・会場は岩見沢駅から徒歩で約10分、タクシーで約5分です。
- ・駐車場(約100台程度)は狭いので、なるべく公共交通機関の利用をお願いします。

学会運営についてのお知らせ

1 学会参加者の皆様へ

- (1) 会場受付で、講演集代 (1,500円)、参加費 (学会員は1,000円、非学会員は2,000円) を納めてください。
なお、一般演題の発表者には、あらかじめ講演集をさしあげていますので、参加費 (1,000円) を納めてください。
引き換えにネームプレートをお渡ししますので、氏名・所属を記入の上、着用してください。ネームプレートの無い方の入場はお断りします。
- (2) 喫煙及び飲食は必ず所定の場所をお願いします。
- (3) 会場内での呼び出しは行いません。

2 一般演題の発表者へ

- (1) 発表者は前演者の発表が始まると同時に、会場前部の「次演者席」に着席してください。
- (2) 抄録に基づいて発表していただき、討論を行います。スライド、OHP等は使用できません。
- (3) 1演題につき発表8分、討論2分の合計10分とします。
- (4) 発表時間(8分)の終了とともに、進行係が合図します。

3 一般演題の座長の方へ

- (1) 前座長の登壇と同時に、会場前部の「次座長席」に着席してください。
- (2) 担当の演題発表の進行は、座長に一任します。1演題につき10分(発表8分、討論2分)を目安に、全体として予定時間通りの進行となるようにお願いします。
- (3) 討論に際しては、所属と氏名を述べてから討論に入るように、ご指示ください。

<関連行事>

◇北海道公衆衛生協会 平成13年度研究集会 テーマ「21世紀における北海道の健康づくり運動」

11月28日(水) 13:00~17:00 岩見沢市文化センター中ホール

◇北海道衛生公衆衛生セミナー テーマ「保健婦とまちづくり」北海道工業大学 倉原 宗孝 先生

11月29日(木) 18:00~(一般演題終了後) 岩見沢市文化センター2階音楽室

第53回北海道公衆衛生学会日程

		第1会場 (中ホール)	第2会場 (音楽室)
11 月 前	午	学会長挨拶 (9:30~9:35) 岩見沢市長挨拶 (9:35~9:45) 特別講演 1 (10:00~11:00) 「わが国における食品衛生の現状と課題」 麻布大学教授 丸山 務	
	前	特別講演 2 (11:00~12:00) 「21世紀、北海道農業の展望」 拓殖大学北海道短期大学教授 相馬 暁	
29	昼	北海道公衆衛生学会評議員会 (練習室B) (12:00~12:50)	
(木)	日	総会 (12:50~13:20)	
	午後	教育講演 1 (13:20~14:10) 「シックハウス症候群と化学物質過敏症」 北海道大学教授 岸 玲子	
	夜	一般演題 介護・支援 (1) 6題 (14:10~15:10) 介護・支援 (2) 7題 (15:10~16:20) 思春期保健 (1) 4題 (16:20~17:00) 思春期保健 (2) 4題 (17:00~17:40)	一般演題 感染症 (1) 5題 (14:00~14:50) 感染症 (2) 4題 (14:50~15:30) 試験検査 4題 (15:30~16:10) 歯科保健 (1) 4題 (16:10~16:50) 歯科保健 (2) 5題 (16:50~17:40)
11 月 前	午	一般演題 成人保健 (1) 4題 (9:00~9:40) 成人保健 (2) 5題 (9:40~10:30)	一般演題 地域保健 (1) 5題 (9:00~9:50) 地域保健 (2) 7題 (9:50~11:00)
	前	特別講演 3 (11:00~12:00) 「これからの地域精神保健福祉活動」 北海道立精神保健福祉センター所長 遠藤 雅之	
30	昼	北海道公衆衛生学雑誌編集委員会 (練習室B) (12:10~13:00)	
(金)	日	一般演題 母子保健 (1) 6題 (13:00~14:00) 母子保健 (2) 4題 (14:00~14:40)	一般演題 精神保健 6題 (13:00~14:00) 環境保健 6題 (14:00~15:00)
	後	教育講演 2 (14:50~15:40) 「児童虐待の発見と予防」 ～母子支援と相談活動を通じて～ 北星学園大学教授 相場 幸子	検診・マスク リーニング 5題 (15:00~15:50)

特 別 講 演 1

第1日 11月29日 午前10時00分～11時00分 第1会場（中ホール）

「わが国における食品衛生の現状と課題」

演 者 丸 山 務（麻布大学教授）

座 長 木 村 浩 男（北海道岩見沢保健所長）

特 別 講 演 2

第1日 11月29日 午前11時00分～12時00分 第1会場（中ホール）

「21世紀、北海道農業の展望」

演 者 相 馬 暁（拓殖大学北海道短期大学教授）

座 長 傳 法 公 麿（藤女子大学教授）

特 別 講 演 3

第2日 11月30日 午前11時00分～12時00分 第1会場（中ホール）

「これからの地域精神保健福祉活動」

演 者 遠 藤 雅 之（北海道立精神保健福祉センター所長）

座 長 小 田 清 一（北海道保健福祉部技監）

第1会場（1）

14:20～17:00

風 光 園

教 育 講 演 1

第1日 11月29日 午後13時20分～14時10分 第1会場（中ホール）

「シックハウス症候群と化学物質過敏症」

演 者 岸 玲 子（北海道大学教授）

座 長 田 村 正 秀（北海道立衛生研究所長）

第2会場（2）

17:00～17:40

教 育 講 演 2

第2日 11月30日 午後14時50分～15時40分 第1会場（中ホール）

「児童虐待の発見と予防」～母子支援と相談活動を通じて～

演 者 相 場 幸 子（北星学園大学教授）

座 長 北 山 禮 子（帯広児童相談所長）

第3会場（1）

14:00～14:30

一般演題

第1演者のみを掲載しています。

11月29日(木) 午後 第1会場(中ホール)

介護・支援(1)

14:10~15:10

座長 北村久美子(旭川医科大学医学部看護学科)

- 1 一人暮らし高齢者の療養状況から
-札幌厚別区における保健婦の在宅訪問指導を通して-
高野 園子(札幌市厚別区保健福祉部保健福祉サービス課)
- 2 高齢者の身体活動と食意識-自立度の高い高齢者について-
百々瀬 いづみ(天使大学)
- 3 後期高齢者の外出状況と健康状態、外出意向との関連
工藤 禎子(北海道医療大学)
- 4 高齢者・障害者のための住宅改善支援の取り組み(第1報)
-住宅改善支援事業の概要-
川島 綾子(深川保健所)
- 5 高齢者・障害者のための住宅改善支援の取り組み(第2報)
-町独自の住宅改善支援システム構築について-
北村 康栄(幌加内町保健福祉総合センター)
- 6 高齢者・障害者のための住宅改善支援の取り組み(第3報)
-住民の意識変容を目指した啓蒙事業から-
西尾 佳代(沼田町在宅介護支援センター)

介護・支援(2)

15:10~16:20

座長 荒田吉彦(北海道保健福祉部)

- 7 介護保険施行後における在宅療養者の家族の介護負担感とその関連要因
和泉 比佐子(札幌医科大学)
- 8 在宅痴呆性高齢者・家族を支える地域活動
-2市2町における地域組織との協働-
北村 久美子(旭川医科大学医学部看護学科地域保健看護学講座)
- 9 在宅神経難病患者を支える地域ネットワークの構築
-神経難病患者の「在宅生活の充実」に関する調査をとおして-
坂井 美千代(名寄保健所)
- 10 難病ボランティアがグループ化した背景を考える
佐藤 法子(岩見沢保健所)
- 11 札幌市におけるホームヘルパーの労働実態調査
笠井 世津子(北海道大学大学院医学研究科社会医学専攻予防医学講座公衆衛生学分野)
- 12 在宅看護における医療処置とその安全性
-医療事故を防ぐために-
寺石 千穂(天使病院)
- 13 在宅看護実習の受け入れに対する指導者の認識
-訪問看護ステーション指導者のグループインタビューを通して-
加藤 欣子(札幌医科大学)

思春期保健（1）

16:20～17:00

座長 小玉光子（上川保健所）

- 14 帯広市内の小中学校の実態調査からの一考察
—睡眠・1カ月の現症・ストレス—
伊東 弘恵（帯広保健所）
- 15 宗谷地域における中・高校生の飲酒行動に関する調査
森木 信子（稚内保健所）
- 16 宗谷支庁管内の青少年の喫煙行動について
—行動指針作成のためのアンケート調査から—
阿部 由美子（稚内保健所）
- 17 高校生への喫煙防止教育に関する検討
白戸 美沙（岩見沢保健所由仁支所）

思春期保健（2）

17:00～17:40

座長 廣田洋子（千歳保健所）

- 18 地域の思春期保健に対する保健所のアプローチ
佐々木 幸子（千歳保健所）
- 19 思春期保健事業の地域における展開
—思春期相談・ネットワーク会議・思春期教室の3年間のまとめ—
渡邊 加奈子（倶知安保健所）
- 20 引きこもり青年へのEメールがきっかけとなった保健婦支援の1事例
青島 由佳（釧路保健所）
- 21 不登校に対する土別地域支援活動について
—親と子を支える「やまびこネットワーク」への保健婦の支援—
小島 小夜子（中標津保健所）

11月29日（木） 午後 第2会場（音楽室）

感染症（1）

14:00～14:50

座長 小林宣道（札幌医科大学医学部衛生学）

- 22 北海道の感染症発生動向調査について
山口 亮（網走保健所）
- 23 食中毒事件録に見るピブリオ中毒10年（1991年から2000年）
勝山 真吉（深川保健所）
- 24 2000年度の北海道におけるインフルエンザウィルスの疫学調査
伊木 繁雄（道立衛生研究所）
- 25 北海道におけるウィルス性胃腸炎について
荒井 桂介（滝川保健所）
- 26 高校生にみられたA群ロクウィルス感染症の集団発生
三好 正浩（道立衛生研究所）

感染症（2）

14:50～15:30

座長 山口 亮（網走保健所）

- 27 道内で検出された環境由来のレジオネラ属菌
森本 洋（道立衛生研究所）
- 28 レジオネラ属菌検査におけるPCR法の検討
熊田 洋行（道立衛生研究所）
- 29 北海道のエキノコックス症患者肝臓について免疫組織化学的検討
古原 宏二（道立衛生研究所）
- 30 北海道におけるノーウォークウィルスによる胃腸炎集団発生事例についての分子疫学的検討
古瀬 志磨（道立衛生研究所）

試験検査

15:30～16:10

座長 阿部敦子（札幌市衛生研究所）

- 31 農産物への残留農薬迅速分析法の適用性について（第4報）
—含窒素系農薬—
新山 和人（道立衛生研究所）
- 32 農産物への残留農薬迅速分析法の適用性について（第5報）
—有機リン系農薬—
佐藤 正幸（道立衛生研究所）
- 33 農産物への残留農薬迅速分析法の適用性について（第6報）
—ピレスロイド系農薬及びN-メチルカーバメイト系農薬—
菅原 尚子（稚内保健所）
- 34 甘草使用食品におけるグリテリチン酸量
頭谷 陽子（札幌市衛生研究所）

歯科保健（1）

16:10～16:50

座長 中山 司（上川保健所）

- 35 「仕上げ歯磨き」の習慣化とその関連要因について（第2報）
上林 宏次（旭川市保健所）
- 36 幼児におけるフッ素入り歯磨き剤の使用状況
兼平 孝（北海道大学大学院歯学研究科口腔健康科学講座）
- 37 1歳6か月児の母乳・哺乳瓶および飲み物と3歳までのう蝕との関連について
日田 昇一（市立函館保健所）
- 38 三歳児におけるう蝕の要因について
—釧路保健所管内における4年間のアンケート調査分析—
伊谷 公男（釧路保健所）

歯科保健（2）

16:50～17:40

座長 兼平 孝（北海道大学大学院歯学研究科）

- 39 歯の喪失状況について
—平成11年度北海道歯科保健調査から—
和田 聖一（北海道保健福祉部地域保健課）

- 40 歯の寿命について
—平成11年度北海道歯科保健調査から—
和田 聖一（北海道保健福祉部地域保健課）
- 41 成人歯科検診における口腔状態と保健意識について
渡邊 佳子（旭川市保健所）
- 42 歯科保健における地域診断の重要性
中山 佳美（北見保健所）
- 43 生活の質に関係する口腔内の要因について
中山 司（上川保健所）

11月30日（金） 午前 第1会場（中ホール）

成人保健（1）

9:00～9:40

座長 杉澤孝久（江差保健所）

- 44 帯広市民の健康意識について
—「けんこう帯広21」アンケート調査の結果から—
園田 智子（札幌医科大学）
- 45 栄養成分表示と外食利用の問題
—栄養成分表示のある弁当に関する検討—
上田 文子（藤女子大学人間生活学部食物栄養科）
- 46 釧路市におけるスマート教室（第6報）
—栄養指導による食事内容の変化と今後の栄養指導のあり方—
山崎 美枝（釧路短期大学）
- 47 釧路市におけるスマート教室（第7報）
—教室の事業評価について—
石川 奈穂（釧路市保健福祉部健康推進課）

成人保健（2）

9:40～10:30

座長 小橋 元（北海道大学大学院医学研究科）

- 48 長沼町における運動実技を中心とした糖尿病予防教室の実践（第1報）
—教室に取り組んだ背景と指導内容—
阿部 和佳子（長沼町総合保健福祉センター）
- 49 長沼町における運動実技を中心とした糖尿病予防教室の実践（第2報）
—継続参加者にみられた変化—
三浦 理枝（長沼町総合保健福祉センター）
- 50 「いきいき健康運動塾」を実施して（その1）
—運動を通じた健康づくりを考える—
山田 晴絵（旭川市保健所）
- 51 「いきいき健康運動塾」を実施して（その2）
—自主活動グループ「いきいきクラブ」発足の道—
浅井 貴子（旭川市保健所）
- 52 禁煙の成功不成功に対する要因分析の試み
—PRECEDE-PROCEEDモデルを用いた一考察—
川田 由香里（岩見沢保健所）

母子保健(1)

13:00~14:00

座長 後藤良一(旭川市保健所)

- 53 「子どもの虐待防止ネットワーク」の取り組み(その1)
ー設立の経過ー
貝田 富子(浦河保健所)
- 54 「子どもの虐待防止ネットワーク」の取り組み(その2)
ーネットワークの機能・具体的な支援事例からー
穴戸 明美(浦河保健所)
- 55 「子どもの虐待防止ネットワーク」の取り組み(その3)
ー新修のシステムについてー
西山 裕司(浦河べてるの家)
- 56 「子どもの虐待防止ネットワーク」の取り組み(その4)
ー公的介入と地域支援ー
幅 三平(室蘭児童相談所)
- 57 「子どもの虐待防止ネットワーク」の取り組み(その5)
ー当事者活動の支援ー
伊藤 恵里子(浦河赤十字病院)
- 58 「子どもの虐待防止ネットワーク」の取り組み(その6)
ーネットワークの効果と今後の課題ー
小林 美子(えりも町役場)

母子保健(2)

14:00~14:40

座長 渡田淑子(札幌市中央区保健福祉部)

- 59 上川中部地域における女性の喫煙に関する実態調査
ー妊娠に関連した喫煙状況ー
石田 としみ(上川保健所)
- 60 北海道内4地域の1歳6ヶ月、3歳児を対象とする食物アレルギー実態調査
藤本 諭(道立衛生研究所)
- 61 幼児のテレビ・ビデオ視聴に関する調査
ー1歳6か月児、3歳児健康診査受診者を対象としてー
板垣 真夕(旭川市保健所)
- 62 「赤ちゃんふれあい体験事業」の評価指標に関する検討
山田 純子(門別町役場)

地域保健(1)

9:00~9:50

座長 鈴木滋生(八雲保健所)

- 63 北海道開拓保健婦の歴史
ー保健婦活動をインタビューから学ぶー
飯田 陽子(北海道農業団体健康保健組合)

- 64 保健婦(士)の専門職業能力の自己評価に関する調査
 -介護保険開始前との比較-
 河原田 まり子(北海道総務部職員厚生課)
- 65 母子保健計画策定により、保健事業に与えた効果について考える
 林 桂(美瑛市保健センター)
- 66 北海道における肝臓疾患の動向(第6報)
 浜島 泉(札幌市厚別区保健センター)
- 67 北海道内市町村別にみた健康寿命及び平均寿命の分布
 村松 幸(北海道大学医療技術短期大学)

地域保健(2)

9:50~11:00

座長 望月吉勝(旭川医科大学医学部看護学科)

- 68 携帯電話による保健所の情報発信について
 -Javaアプリケーションを中心として-
 花田 日出夫(岩見沢保健所)
- 69 インターネットを用いたLecture Bank確立の試み(第1報)
 石田 晃造(北海道大学大学院医学研究科)
- 70 北海道内の病院におけるホームページ公開の現状について
 三瀬 敬治(札幌医科大学医学部衛生学)
- 71 北海道の健康・福祉・介護総合指標の視覚化に関する研究(その1)
 -地域意思決定支援システムの構築について-
 勝亦 百合子(北海道大学大学院医学研究科)
- 72 北海道の健康・福祉・介護総合指標の視覚化に関する研究(その2)
 -Web上における指標のマッピング-
 新井 明日奈(北海道大学大学院医学研究科)
- 73 北海道の健康・福祉・介護総合指標の視覚化に関する研究(その3)
 -交通事故データの解析(予報)、1996-2000年-
 太田 薫里(北海道大学大学院医学研究科)
- 74 医療・保健・介護情報共有システムの構築
 大柳 俊夫(札幌医科大学保健医療学部)

11月30日(金) 午後 第2会場(音楽室)

精神保健

13:00~14:00

座長 田邊 等(道立精神保健福祉センター)

- 75 ディケア利用者の自殺の実態と自殺の予防対策をめぐって
 藤枝 俊儀(道立精神保健福祉センター)
- 76 混合・開放型ディケアの実践と今後の課題
 竹岡 由比(道立精神保健福祉センター)
- 77 精神分裂病者の地域支援のあり方について
 -単身生活を継続できた要因の検討から-
 大久保 貴美子(上川保健所)

- 78 保健婦・士教育の精神科実習におけるブラインド学習の意義
高橋 恭子 (道立旭川高等看護学院保健婦科)
- 79 有珠山噴火災害「心のケア班」に従事した道職員の調査
—健康および生活への影響—
高野 千代 (道立精神保健福祉センター)
- 80 有珠山噴火災害における母子の避難生活の実態について
—釧田町乳幼児健診再開時のアンケート結果分析を中心に—
深津 恵美 (室蘭保健所)

環境保健

14:00～15:00

座長 都築俊文 (道立衛生研究所)

- 81 木造住宅内のホルムアルデヒド濃度に関する居住者要因
前林 十三男 (株式会社青山ブリザーブ)
- 82 中学校でおきたPCB飛散事故への対応
廣田 洋子 (千歳保健所)
- 83 札幌市における乾性沈着量について
恵花 孝昭 (札幌市衛生研究所)
- 84 プラスチック製医療用具から溶出するフタル酸エステル類について
藤本 啓 (道立衛生研究所)
- 85 家電製品から発生する磁界の強さの実態調査
福田 一義 (道立衛生研究所)
- 86 花粉症の予防に関する研究 6
—2001年の道内5都市におけるシラカバ空中花粉調査—
武内 伸治 (道立衛生研究所)

検診・マスキング

15:00～15:50

座長 大見広規 (北海道保健福祉部)

- 87 子宮がん検診時の経膈超音波検査実施状況
池田 おりえ (北海道対がん協会旭川がん検診センター)
- 88 北海道における神経芽細胞腫スクリーニング実績と今後の課題
—宮 久恵 (北海道薬剤師会公衆衛生検査センター)
- 89 ガラクトース血症スクリーニングにおける判断基準値について
市原 侃 (道立衛生研究所)
- 90 札幌市における胆道閉鎖症スクリーニングについて
荒井 修 (札幌市衛生研究所)
- 91 3歳児健診を利用したウイルソン病スクリーニングの試み
中山 憲司 (道立衛生研究所)

第53回北海道公衆衛生学会運営役員

学 会 長	北海道岩見沢保健所	所 長	木 村 浩 男
副学会長	岩 見 沢 市	市民福祉部長	増 子 一 男
幹 事	北海道滝川保健所	所 長	岩 田 顕
幹 事	北海道深川保健所	所 長	北 村 啓 市
幹 事	北海道岩見沢保健所	由 仁 支 所 長	館 香 奈 子
幹 事	北海道岩見沢保健所	主 任 技 師	花 田 日 出 夫
幹 事	北海道岩見沢保健所	主 任 技 師	片 岡 俊 之
事務局			
事務局長	北海道岩見沢保健所	次 長	小 林 孝
事務局次長	岩 見 沢 市	保 健 課 長	大 西 拓 也
事務局次長	北海道滝川保健所	次 長	林 昭 夫
事務局次長	北海道深川保健所	次 長	藪 豊
事務局員	北海道岩見沢保健所	企 画 総 務 課 長	砂 田 和 俊
事務局員	北海道滝川保健所	企 画 総 務 課 長	辰 己 恭 治
事務局員	北海道深川保健所	企 画 総 務 課 長	目 谷 繁 昭
事務局員	岩 見 沢 市	保 健 係 長	奥 村 多 加 夫
事務局員	岩 見 沢 市	保 健 指 導 係 長	山 下 澄 子
事務局員	北海道岩見沢保健所	健 康 推 進 課 長	山 口 芳 生
事務局員	北海道岩見沢保健所	生 活 衛 生 課 長	小 野 智 昭
事務局員	北海道岩見沢保健所	地 域 保 健 推 進 課 長	大 久 保 洋 子
事務局員	北海道岩見沢保健所	試 験 検 査 課 長	松 本 英 康
事務局員	北海道岩見沢保健所	企 画 主 幹	佐 藤 道 明
事務局員	北海道岩見沢保健所	総 務 係 長	木 下 忠 義
事務局員	北海道岩見沢保健所	企 画 調 整 係 長	新 井 正 一